

平成30年度の主な取り組みについて

1. 高齢者生活支援体制整備事業

地域における高齢者の生活支援体制を整備し、地域包括ケアシステム構築の促進を目的とする。

①生活支援コーディネーターの配置

社会資源マップ構築による可視化

地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ

生活支援の担い手の養成やサービスの開発

ニーズとサービスのマッチング

②協議体の設置

第1層協議体（市全域）

居場所づくり、生活支援、移動支援のテーマごとに検討部会の開催

第2層協議体（地域）

地域課題の調査を主目的に、地域ごとに話し合いの場を設ける。

2. 介護と医療の連携事業

地域包括ケア体制の基盤強化のため、医療・介護・福祉に携わる多職種専門職の連携を推進する。

①医療・介護職等を対象とした多職種連携研修会の開催

②多職種の情報交換・情報提供の場（れんけいカフェ・プチれんけいカフェ）の開催

③健康や介護に関する啓発イベント（いきいきフェスタ）の開催

④ブルーカードシステム（休日夜間病状急変時対応システム）の推進

ブルーカードシステム推進委員会の開催

「登録医」の拡大

⑤多職種連携情報紙「多職種連携マガジン」の発行

3. 災害ボランティアセンターについて

①災害ボランティアセンターのスムーズな設置・運営のための準備等

②災害ボランティアの登録、育成

③避難行動要支援者の把握と支援体制の構築にむけた取り組み